

7 車両

番号	対策の名称
⑨	アプリを用いた配車
内容	<p>タクシー配車アプリは、ユーザー（タクシー利用者）がスマートフォン等でアプリを使って、タクシーを呼ぶことができるサービスです。電話での予約や町中を走る空車を捕まえることなく、タクシーを利用できます。</p> <p>アプリ、及び運営会社によってサービスに違いはありますが、ユーザーの立場からすると以下のようなメリットがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番近くのタクシーがすぐ来る、すぐ乗れる ・電話をかけずにスマホでタクシーを呼べる ・面倒な場所の説明は不要 ・目安到着時間がわかる、目的地までのおおよその料金が事前にわかる ・希望の日時を指定して配車が可能 ・事前にクレジットカードを登録することで、降車時の支払い手続きが不要 ・割引クーポンがある（アプリインストール時やアプリ利用回数に応じてなど） <p>一方、タクシー会社（タクシードライバー）から見ると、お客を探して、町中を走るいわゆる「流し」や、駅や大型商業施設などでの待機の必要がなく、無駄な走行やアイドリングを抑制でき、効率の良い配車が可能となります。</p> <p>通常の「流し」や待機と並行して、配車アプリからの呼び出しを受けたら対応することになりますので、空車の時間が減り、単位時間あたりの売り上げが増える（通常の売り上げに、配車アプリでの稼働分が上積みされる）ケースが多いといわれています。</p>
効果	<p>環境負荷の観点では、空車走行や待機時のアイドリングの抑制、効率よく配車が行えるようになったことなど等で、燃料使用量の削減効果があります。また、単位時間あたり稼働（実車率）が増えることから、ドライバーの労働時間を短縮できる可能性があります。</p> <p>ユーザーにもタクシー会社にもメリットが多く、しかも環境負荷低減に寄与するサービスといえます。</p>
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリによる配車は、タクシードライバーの参入障壁を下げる効果があり、ドライバー不足対策としても有効といわれています。 ・デメリットとしては、キャンセル率の高さがあります。キャンセルはドライバー側の被害（呼び出しを受けた場所に到着してもお客がいない）が大きいことと、乗れるはずの別のお客が乗れない、といった事態が生じます。アプリの手軽さと匿名性によるものですが、何らかの対策が求められています。